

相関チェックエラーコード一覧表（2024年度 4,5月）

■様式 1 ファイル相関チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
FF1-A1	ペイロード種別の不足	入力必須であるペイロード種別のレコードが無い場合に出力されます。 指定されたデータで入力漏れのレコードがないか確認してください。
FF1-A2	ペイロード種別の重複	ペイロードのキー項目（データ識別番号、入院年月日、回数管理番号、統括診療情報番号、コード、連番）に重複がある場合は、重複しているデータが出力されます。 指定されたデータでデータの重複がないか確認してください。
FF1-A3	ペイロード種別の欠け	複数入力が必要な項目（手術情報、診断情報/併存症、診断情報/続発症等）について、連番に欠けがある場合に出力されます。 指定されたデータで連番に欠けがないか確認してください。
FF1-A4	ペイロード種別の不足（条件付き）	条件付きで入力必須となるペイロード種別のレコードが無い場合に出力されます。 指定されたデータ入力漏れのレコードがないか確認してください。
FF1-1	データの不足（様式1とEFファイル間の矛盾）	EFファイルに存在するにもかかわらず、様式1に作成されていない症例がある場合はデータ識別番号、入院年月日、退院年月日が出力されます。 指定された症例が様式1とEFファイルで過不足ないか確認してください。
FF1-2	手術情報の矛盾	様式1の手術情報とEFファイルで入力されている手術の内容に矛盾がある場合に出力されます。 様式1に手術情報が無く、EFファイルに手術情報がある場合はエラーになります。 様式1に手術情報があり、EFファイルに手術情報が無い場合はワーニングとなります。 様式1とEFファイルの手術情報に矛盾がないか確認してください。
FF1-3	データの不足（転棟が無い場合）	EFファイルに存在する退院症例が様式1に親様式として存在しないため、出力されます。 指定された症例の親様式の作成状況を確認してください。
FF1-4	データの過剰（子様式 1 の過剰）	EFファイルの入院料上では転棟していないに関わらず、子様式 1 が作成されている場合に表示されます。 様式1とEFファイルで指定された症例の転棟状況を確認し、子様式が過剰に作成されていないか確認してください。
FF1-5	データの不足 （転棟が有る場合の子様式 1 の不足）	EFファイルを参照し、様式1の子様式の作成が不足していると思われる症例を表示しています。 ※調査では実際の転棟ではなく入院料で転棟を判断しています。 様式1とEFファイルで指定された症例の転棟状況を確認し、子様式が正しく作成されているか確認してください。 退院日当日入院かつ翌日転棟の症例で当該エラーが出た場合、様式1とEFファイルの入院料の情報を添えて事務局までご連絡ください。
FF1-6	データの不足 （転棟が有る場合の親様式 1 の不足）	転棟が有り親様式 1 が不足している該当症例情報が出力されます。 様式1とEFファイルで指定された症例の転棟状況を確認し、親様式が正しく作成されているか確認してください。
FF1-7	キー情報重複	様式1において、同じ患者で入院期間が重複している症例があった場合に出力されます。 重複の判定としてキー情報（施設コード、データ識別番号、入院年月日、退院年月日、回数管理番号、統括診療情報番号、様式1開始日、様式1 終了日）で判定を行っているため、キー情報が重複していないか確認してください。
FF1-8	統括診療情報番号グループの入退院年月日の矛盾	各患者の統括診療情報0、Aのデータで入院期間が重なる場合に表示されます。 該当症例が重複していないか確認してください。
FF1-9	様式 1 開始終了日の矛盾	同一のデータ識別番号で子様式の期間（様式1開始日～様式1終了日）が重なる場合に出力されます。 指定された子様式で期間の重複がないか確認してください。
FF1-10	日付範囲の矛盾 （転棟有り退院済データでの矛盾）	入退院日と様式 1 開始終了日に矛盾がある場合に出力されます。 指定された症例で親様式と子様式の期間に誤りがないか、各病棟の子様式で期間や統括診療情報番号の重複がないか確認してください。

コード	項目	エラー内容
FF1-11	日付範囲の矛盾 (転棟有り未退院データでの矛盾)	入退院日と様式 1 開始終了日に矛盾がある場合に出力されます。 指定された症例で各病棟の子様式で期間や統括診療情報番号の重複がないか確認してください。
FF1-12	統括診療情報番号A の不足	一連となる7日以内の再入院に該当するのにもかかわらず 統括診療情報番号Aの様式 1 が作成されていない場合に出力されます。 以下をすべて満たす場合に、統括診療情報番号Aの作成が必要です。 ①以下のいずれかに該当する。 ・前回入院の医療資源傷病のDPC上2桁と今回入院の入院契機傷病のDPC上2桁が同一である ・前回入院の医療資源傷病のDPC6桁と今回入院の医療資源傷病のDPC6桁が同一である ・今回入院の入院契機傷病が分類不能コード（DPC6桁の存在しないICD10コード）である ・今回入院の入院契機傷病が180040に分類されるICD10コードである ②一般病棟を退棟後、7日以内に一般病棟に入棟した症例である（A00050 病棟の値をご確認ください）。 ③今回入院のA000020 予定・救急医療入院が“101”ではない。 指定されたデータが上記の条件に概要する場合はALコードを作成してください。
FF1-13	統括診療情報番号A の過剰	統括診療情報番号Aのデータが過剰である場合に出力されます。 下記のいずれかに該当する場合、統括診療情報番号Aの作成は不要です。 ①以下のいずれにも該当しない。 ・前回入院の医療資源傷病のDPC上2桁と今回入院の入院契機傷病のDPC上2桁が同一である ・前回入院の医療資源傷病のDPC6桁と今回入院の医療資源傷病のDPC6桁が同一である ・今回入院の入院契機傷病が分類不能コード（DPC6桁の存在しないICD10コード）である ・今回入院の入院契機傷病が180040に分類されるICD10コードである ②一般病棟を退棟後、7日以内に一般病棟に入棟した症例ではない（A00050 病棟の値が正しくない）。 ③今回入院のA000020 予定・救急医療入院が“101”となっている。
FF1-14	診断群分類の矛盾	医療資源を最も投入した傷病のICD10 とDファイルの診断群分類番号6桁に矛盾がある場合に出力されます。 指定された症例で様式1の医療資源を最も投入した傷病とDファイルの診断群分類番号6桁との関係性が正しいか確認してください。
FF1-15	副傷病の矛盾	様式1の入院時併存症、入院後発症疾患のICD10とDファイル診断群分類番号の副傷病有無に矛盾がある場合に出力されます。 ※FF1-14 のエラーがなしの場合にチェックされます。 指定された症例で様式1の入院時併存症、入院後発症疾患とDファイルの診断群分類番号の副傷病の有無との関係性が正しいか確認してください。
FF1-16	身長体重値の異常	様式1 該当月全体での身長、体重の値について、平均BMIが適性範囲外の場合や不明割合が高い場合に出力されます。 当該月の身長体重を確認してください。
FF1-17	再入院、再転棟理由の不足	再入院理由および再転棟理由を入力すべき症例であるにもかかわらず、入力されていない場合に出力されます。 再入院理由、再転棟理由の入力項目を確認してください。
FF1-18	FF1、EF 間の在院日数確認	様式1開始日から様式1終了日の日数（様式1ベース在院日数）とEFファイルの実施年月日毎の入院料レセ電算コードの件数（EFベース在院日数）に相違がある場合に発生します。 様式1の在院期間やEFファイルの入院料算定状況を確認してください。

コード	項目	エラー内容
FF1-19	FF1、EF 間の入院病棟確認	様式1の入院病棟とEF入院料による病棟に差異がある場合にワーニングが出力されます。 様式1の調査対象となる病棟の有無とEFで算定している入院料に違いがないか確認してください。
FF1-20	手術情報整合性の確認	様式1とEFファイル間で手術の医科点数表コード及び実施年月日の不整合がある場合にワーニングとして出力されます。 様式1の手術情報とEFで入力されている手術の内容に矛盾が存在しないか確認してください。
FF1-21	統括診療情報番号の重複	同一の入院期間内で統括診療情報番号が重複している場合にエラーになります。 統括診療情報番号は様式 1 開始日が早い順に子様式1に対して 1, 2, 3, …と順番に採番してください。
FF1-22	ペイロード種別の不足（条件付き：EFn 参照）	EFファイルを参照し、条件付きで必須となるペイロード種別レコードの漏れがある場合に出力されます。 指定されたデータに対して、様式1で入力漏れのレコードがないか確認してください。
FF1-23	予定・救急医療入院と救急医療管理加算との矛盾	EFファイルの救急医療管理加算の算定状況と様式1の予定・救急医療入院の値が一致していない場合にワーニングが出力されます。 以下に該当していないか確認してください。 救急医療管理加算1を算定しているにも関わらず、予定・救急医療入院が301～309,331,332ではない。 救急医療管理加算2を算定しているにも関わらず、予定・救急医療入院が311～320,321,322ではない。 ※ただし一連の入院で入院起算日から7日以内再入院した場合は除く。
FF1-24	生年月日の不一致	様式1内の同一データ識別番号で生年月日が異なっている場合にエラーが出力されます。 生年月日が正しいか確認してください。

■様式4ファイル相関チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
FF4-1	データの不足（様式4と様式1間の矛盾）	様式1のデータに対応する様式4のデータがない場合に出力されます。 指定されたデータが様式4に不足がないか確認してください。
FF4-2	キー情報重複	様式4において、同じ患者で入院期間が重複している症例があった場合に出力されます。 重複の判定としてキー情報（施設コード、データ識別番号、入院年月日、退院年月日）で判定を行っているため、キー情報が重複していないか確認してください。
FF4-3	前月との入退院年月日の矛盾	前月と今月の同一データ識別番号の患者の入退院年月日と比較し矛盾がある場合に出力されます。 指定されたデータ識別番号の患者の前月と今月の入院期間を確認してください。
FF4-4	同月での入退院年月日の矛盾	同月内で入退院年月日が重なっている場合に出力されます。 様式4内で指定された症例が重複していないか確認してください。
FF4-5	データの不足（様式4とEFファイル間の矛盾）	EFファイルで作成されている入院症例が様式4に存在しない場合に出力されます。 指定された症例が様式4とEFファイルで過不足ないかを確認してください。
FF4-6	データの不足（様式4とHファイル間の矛盾）	Hファイルと様式4を比較し、データ入力に矛盾がある場合に出力されます。 以下に該当しないか確認してください。 ・Hファイルに存在する退院症例が様式4に存在していない ・Hファイルに存在する未退院症例が様式4に存在している

■入院EFファイル関連チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
EF-1	データの不足（EFファイルと様式1との矛盾）	様式1と比較して、EFファイルのデータが不足している場合に出力されます。 指定された症例が様式1とEFファイルで過不足ないかを確認してください。
EF-2	前月と今月のデータ識別番号の確認	前月と今月に在院していた患者数÷今月の延べ患者数が10%以下は匿名化処理のワーニングとして出力されます。 同一の患者に対して同一のデータ識別番号が振られているか確認してください。
EF-3	出来高実績点数確認	EファイルFファイル間でチェックを行い、EF18行為点数がEF16出来高実績点数の合計と一致していない場合に出力されます。 EF18行為点数、EF16出来高実績点数を確認してください。
EF-4	入院料重複	同日に入院料レコードが2つ以上出力されている場合出力されます。 同一入院料を重複して登録していないか確認してください。
EF-5	キー情報重複	EFファイルにおいて、同じ患者で入院期間が重複している症例があった場合に出力されます。 重複の判定としてキー情報（F1 施設コード～F7 行為明細番号）で判定を行っているため、キー情報が重複していないか確認してください。
EF-6	同月での入退院年月日の矛盾	同月内で入退院年月日が重なっている場合に出力されます。 EFファイル内で指定された症例が重複していないか確認してください。
EF-7	EFファイルと様式3との矛盾	様式3に登録がなく、EFファイルで算定されている場合に出力されます。 EFファイル、様式3で入院料・加算の入力状況が一致しているか確認してください。
EF-8	データの過剰（EFファイルと様式4間の矛盾）	様式4の医療保険外との組合せが「3．保険請求なし」となっているにも係わらず、EFファイルが作成されている場合に出力されます。 様式4の医療保険外との組み合わせの入力が正しいか、指定された症例がEFファイルで入力が必要かどうか確認してください。
EF-9	行為明細番号の不足	各順序番号で行為明細番号000(Eファイル相当)、001(Fファイル1行目相当)が存在していないデータを出力されます。 指定されたデータで行為明細番号000(Eファイル相当)、001(Fファイル1行目相当)が存在しているか確認してください。
EF-10	外来EFとの日付の矛盾	同一のデータ識別番号の患者において、EFファイルの入院期間中（入院日退院日を除く）に外来EFのデータが存在している場合に出力されます。 EFファイルと外来EFファイルで指定されたデータが重複していないか確認してください。
EF-11	外来EFとのデータ識別番号の確認	入院EFと外来EFをチェックし、データ識別番号の合致率が低い場合に匿名化に失敗している可能性があるとしてワーニングが出力されます。 同一の患者に対して同一のデータ識別番号が振られているか確認してください。
EF-12	データの不足（EFファイルとDファイル間の矛盾）	EFファイルとDファイルにおいて、データ区分・実施日単位で比較を行い、Dファイルに存在する診療行為がEFファイルに存在しない場合にワーニングとして出力されます。 指定された診療行為がEFファイルとDファイルで過不足ないかを確認してください。
EF-13	データの不足（EFファイルと様式4間の矛盾）	様式4とEFファイルと比較して、EFファイルのデータが不足している場合に表示されます。 EFファイルと様式4の医療保険外との組み合わせが正しいかもあわせて確認してください。 指定された症例がEFファイルと様式4で過不足ないかを確認してください。
EF-14	薬剤料点数確認	薬剤レコードに対して、下記の場合にワーニングが出力されます。 ・Fファイルの薬剤レコードの出来高実績点数を、同一データ区分・順序番号で合計した値と、対応するEファイルの行為薬剤料が不一致の場合 ・Fファイルの薬剤レコードの出来高実績点数を、同一データ区分・順序番号で合計した値と、対応するFファイルの明細点数を合計した値が不一致の場合 指定されたデータの出来高実績点数、行為薬剤料、明細点数を確認してください。

コード	項目	エラー内容
EF-15	材料料点数確認	材料における出来高実績点数の合計と行為材料料の間に差異がある場合に出力されます。 指定されたデータのE-13行為材料料とF-18出来高実績点数を確認してください。
EF-16	加算点数確認	一部の加算点数について正しい点数が設定されていない場合に出力されます。 指定されたデータの加算点数が正しいか確認してください。
EF-17	特定入院料明細存在確認	診療行為を包括する入院料を算定した日に、入院料に包括される診療行為が当該実施年月日に一つも無い場合にエラーが出力されます。 特定入院料等を算定する場合においては、入院料包括項目区分（行為明細区分情報2桁目）を「1」もしくは「2」として、包括される診療行為がない場合でも少なくとも入院料の出力が必要です。
EF-18	先進医療の確認	先進医療実施症例に対して、様式4において「4：保険と他制度の併用」が選択されていない場合に出力されます。 EFファイルで先進医療の実施の有無と様式4での医療保険外との組み合わせの入力が正しいか確認してください。
EF-19	基準単位の確認	基準単位について、レセプト電算処理システム基本マスタと照合し、正しい値が設定されていない場合に出力されます。 EF-13基準単位の値を確認してください。
EF-20	外泊レコードの確認	外泊のレコードの出来高実績点数、同日の入院料の存在を確認し、不足等がある場合に出力されます。 外泊レコードの入力状況を確認の上、外泊レコードの出来高実績点数が正しいか、同日に入院料のレコードが存在するか確認してください。
EF-21	ADL 区分の不足	医療区分・ADL 区分の出力対象である入院料が存在している症例について、医療区分・ADL 区分レコードが存在していない、もしくは重複出力されている場合に出力されます。 EFファイルの入院料や医療区分・ADL区分に関するレコードを確認してください。
EF-22	データの不足（EFファイルとKファイルの矛盾）	KファイルとEFファイルを比較して、EFファイルにデータが不足している場合にワーニングとして出力されます。 指定された症例がEFファイルとKファイルで過不足ないかを確認してください。
EF-23	行為回数の不一致	各順序番号の行為明細番号000(Eファイル相当)、000以外(Fファイル相当)で行為回数が一致していない場合に出力されます。 指定されたデータで行為明細番号000(Eファイル相当)、000以外(Fファイル相当)で行為回数が一致しているか確認してください。
EF-24	算定回数上限の確認	算定回数が上限を超えているものが存在する場合にワーニングが出力されます。 指定されたデータについて、月内の算定回数が正しいか確認してください。
EF-25	短期滞在手術等基本料3の手術・検査等の確認	短期滞在手術等基本料3に包括される診療項目のうち、定義されている手術・検査等が入院料包括項目区分「1」として実施年月日にない場合にエラーが出力されます。 指定されたデータについて、実施年月日に短期滞在手術等基本料3の手術・検査等が存在しているか確認してください。

■ 外来EFファイル関連チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
EFg-1	出来高実績点数確認	EgファイルFgファイル間でチェックを行い、EF18行為点数がEF16出来高実績点数の合計と一致していない場合に出力されます。 EF18行為点数、EF16出来高実績点数を確認してください。
EFg-2	キー情報重複	外来EFファイルにおいて、同じ患者で入院期間が重複している症例があった場合に出力されます。 重複の判定としてキー情報（F1 施設コード～F7 行為明細番号）で判定を行っているため、キー情報が重複していないか確認してください。
EFg-3	行為明細番号の不足	各順序番号で行為明細番号000(Eファイル相当)、001(Fファイル1行目相当)が存在していないデータを出力されます。 指定されたデータで行為明細番号000(Eファイル相当)、001(Fファイル1行目相当)が存在しているか確認してください。
EFg-4	院外処方薬の確認	院外処方であるのにも関わらず薬剤料が発生している場合に出力されます。 EF16出来高実績点数、EF19行為薬剤料の値を確認してください。
EFg-5	基準単位の確認	基準単位について、レセプト電算処理システム基本マスタと照合し、正しい値が設定されていない場合に出力されます。 EF-13基準単位の値を確認してください。
EFg-6	生年月日の確認	データ識別番号が同一の患者に対して、生年月日が複数存在している場合に出力されます。 指定された症例のデータ識別番号、生年月日を確認してください。
EFg-8	SY レコードの不足	外来EFファイルに診療行為が出力されているにもかかわらず、傷病名レコード（SYレコード）が出力されていない場合に表示されます。 外来EFファイルで出力された診療行為に対する傷病名を入力してください。

■Dファイル関連チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
D-1	データの不足（Dファイルと様式1との矛盾）	様式1とDファイルと比較して、Dファイルのデータが不足している場合に表示されます。 指定された症例が様式1とDファイルで過不足ないかを確認してください。
D-2	キー情報重複	Dファイルにおいて、同じ患者で入院期間が重複している症例があった場合に出力されます。 重複の判定としてキー情報（施設コード、データ識別番号、退院年月日、入院年月日、データ区分、順序番号）で判定を行っているため、キー情報が重複していないか確認してください。
D-3	同月での入退院年月日の矛盾	同月内で入退院年月日が重なっている場合に出力されます。 Dファイル内で指定された症例が重複していないか確認してください。
D-4	入院料重複	同日に入院料レコード（930000000 含む）が2つ以上出力されている場合に出力されます。 同一入院料を重複して登録していないか確認してください。
D-5	データの不足（DファイルとEFファイルとの矛盾）	DファイルとEFファイルにおいて、実施日単位で比較を行い、EFファイルに存在する診療行為がDファイルに存在しない場合にワーニングとして出力されます。 指定された診療行為がEFファイルとDファイルで過不足ないかを確認してください。
D-6	EF、D 間の入院料確認	EFファイル入院料レセ電算コードとDファイル入院料レセ電算コードの間で不整合がある場合に出力されます。 指定されたデータの入院料に関わるレコードを確認してください。

■Hファイル関連チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
H-A1	ペイロード種別の不足	入力されたHファイルに存在するペイロード種別を確認し、不足しているペイロード種別がある場合に出力されます。 指定されたデータで入力漏れのレコードがないかを確認してください。
H-A2	ペイロード種別の重複	ペイロードのキー項目（データ識別番号、病棟コード、入院年月日、退院年月日、実施年月日、コード、連番）に重複がある場合は、重複しているデータが出力されます。 指定されたデータでデータの重複がないか確認してください。
H-2	データ識別番号の矛盾	EFファイルとHファイルのデータ識別番号を比較し、Hファイルに存在するデータ識別番号がEFファイルに存在しない場合に出力されます。 指定された症例がEFファイルとHファイルで過不足ないかを確認してください。
H-3	同月での入退院年月日の矛盾	同月内で入退院年月日が重なっている場合に出力されます。 Hファイル内で指定された症例が重複していないか確認してください。
H-8	ペイロード種別コードの不足	重症度、医療・看護必要度判定対象であるにもかかわらず、ASS 評価票が存在しない場合に出力されます。 看護必要度の判定対象であるかどうか、ASS評価票の入力が不足していないか確認してください。

■様式3ファイル関連チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
FF3-1	様式3とEFファイルとの矛盾	様式3に入力があり、EFファイルに入力がないレセ電算情報がある場合に出力されます。 様式3、EFファイルで入院料・加算の入力状況が一致しているか確認してください。

■Kファイル関連チェックエラーコード

コード	項目	エラー内容
K-1	データの不足（KファイルとEFファイルの矛盾）	EFファイルとKファイルを比較して、Kファイルにデータが不足している場合に出力されます。 指定された症例がEFファイルとKファイルで過不足ないかを確認してください。
K-2	生年月日の不一致	Kファイル、様式1、EFgファイルの同一データ識別番号で生年月日が異なっている場合にエラーが出力されます。 各ファイルで指摘されたデータ識別番号の生年月日が正しいか確認してください。 ※EFgファイルが入力としてない場合は、Kファイルと様式1でチェックされます。